

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識が身につく。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につく。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力が身につく。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	--

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
英語	NWA01	Communicative English I	必修	1年	英語のスピーキング力を高め、英語で自然に意思疎通できるようにする。	◎	◎	○	◎		
	NWA02	Communicative English II	必修	1年	英語のスピーキング力を高め、英語で自然に意思疎通できるようにする。	◎	◎	○	◎		
	NWA03	Reading I	必修	1年	英語の読解力を高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための基本的な語彙・文法・スキルが身につく。	◎	◎	◎	◎		
	NWA04	Reading II	必修	1年	英語の読解力を高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための基本的な語彙・文法・スキルが身につく。	◎	◎	◎	◎		
	NWA05	Reading III	必修	2年	英語の読解力をさらに高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための語彙・文法・スキルが身につく。	◎	○	◎	◎		
	NWA06	Reading IV	必修	2年	英語の読解力をさらに高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための語彙・文法・スキルが身につく。	◎	○	◎	◎		
	NWA07	Practical English	必修	2年	英語の聴解力を高め、自分から発信できるような英語の運用力が身につく。	◎	○	○	◎		
	NWA08	TOEIC I	必修	2年	TOEIC形式の問題演習をとおして、英語で具体的な情報を聴き取ったり、概要や詳細な情報を正確に理解することができる。	◎	○	○	◎		
	NWA09	TOEIC II	選択	3年	TOEIC形式の問題演習をとおして、さらに英語の聴解力・読解力・運用力を向上できる。	◎	○	○	◎		
	NWA10	TOEIC III	選択	3年	TOEIC形式の問題演習をとおして、さらに英語の聴解力・読解力・運用力を向上できる。	◎	○	○	◎		
	NWA11	Current English I	選択	2年	新聞やニュース、インターネットなど、メディアの英語を読んだり聴いたりして、その概要や詳細、論点を理解することができる。	◎	○	◎	◎		
	NWA12	Current English II	選択	2年	新聞やニュース、インターネットなど、メディアの英語を読んだり聴いたりして、その概要や詳細、論点を理解することができる。	◎	○	◎	◎		
	NWA13	Writing I	選択	2年	英語の段落・ライティングの手法を身につけ、英語を英語母語話者の発想で書けるようになる。	◎	○	◎	◎		
	NWA14	Writing II	選択	2年	英語の段落・ライティングの手法を身につけ、英語を英語母語話者の発想で書けるようになる。	◎	○	◎	◎		
	NWA15	Advanced Reading I	選択	2年	より難易度の高い英文読解をとおして英文の読解力を高め、様々なジャンルに応じた英文の読み方ができるようになる。	◎	○	◎	◎		
	NWA16	Advanced Reading II	選択	2年	より難易度の高い英文読解をとおして英文の読解力を高め、様々なジャンルに応じた英文の読み方ができるようになる。	◎	○	◎	◎		
	NWA17	Communication Skills I	選択	2年	英語のスピーキング力をさらに高め、英語で効果的に意思疎通できるようにする。	◎	○	○	◎		
	NWA18	Communication Skills II	選択	2年	英語のスピーキング力をさらに高め、英語で効果的に意思疎通できるようにする。	◎	○	○	◎		
	NWA19	Communication Skills III	選択	3年	英語スピーキングの応用力を身につけ、英語で自然に意思疎通できるようにする。	◎	○	○	◎		
	NWA20	Communication Skills IV	選択	3年	英語スピーキングの応用力を身につけ、英語で自然に意思疎通できるようにする。	◎	○	○	◎		
	NWA21	English Seminar I	選択	3年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	◎	○	◎	◎		
	NWA22	English Seminar II	選択	3年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	◎	○	◎	◎		
	NWA23	English Seminar III	選択	4年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	◎	○	◎	◎		
	NWA24	English Seminar IV	選択	4年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	◎	○	◎	◎		

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身につけることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につけることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身につけることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
ドイツ語	NWB01	ドイツ語入門Ⅰ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	◎	○		○		
	NWB02	ドイツ語入門Ⅱ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	◎	○		○		
	NWB03	ドイツ語基礎Ⅰ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	◎	○		○		
	NWB04	ドイツ語基礎Ⅱ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	◎	○		○		
	NWB05	ドイツ語応用Ⅰ	選択	2年	初級を終えて次のステップに相応しい文法・読み・聞き取り・作文能力を習得する。またドイツで日常生活に役立つドイツ語能力を身につけることができる。	○			○	◎	
	NWB06	ドイツ語応用Ⅱ	選択	2年	初級を終えて次のステップに相応しい文法・読み・聞き取り・作文能力を習得する。またドイツで日常生活に役立つドイツ語能力を身につけることができる。	○			○	◎	
	NWB07	ドイツ語演習Ⅰ	選択	3年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身につけることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	○			○	◎	
	NWB08	ドイツ語演習Ⅱ	選択	3年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身につけることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	○			○	◎	
	NWB09	ドイツ語演習Ⅲ	選択	4年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身につけることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	○			○	◎	
	NWB10	ドイツ語演習Ⅳ	選択	4年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身につけることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	○			○	◎	
フランス語	NWC01	フランス語入門Ⅰ	必修	1年	フランス語の基本的な口語表現ができるようになる。	○	○		◎		
	NWC02	フランス語入門Ⅱ	必修	1年	フランス語の基本的な口語表現ができるようになる。	○	○		◎		
	NWC03	フランス語基礎Ⅰ	必修	1年	フランス語の基礎的な文法を理解することができる。	○	○		◎		
	NWC04	フランス語基礎Ⅱ	必修	1年	フランス語の基礎的な文法を理解することができる。	○	○		◎		
	NWC05	フランス語応用Ⅰ	選択	2年	フランス語で表現する能力をさらに身につけることができる。	○			○	◎	
	NWC06	フランス語応用Ⅱ	選択	2年	フランス語で表現する能力をさらに身につけることができる。	○			○	◎	
	NWC07	フランス語演習Ⅰ	選択	3年	フランス語の総合的な能力を身につけることができる。	○			○	◎	
	NWC08	フランス語演習Ⅱ	選択	3年	フランス語の総合的な能力を身につけることができる。	○			○	◎	
	NWC09	フランス語演習Ⅲ	選択	4年	フランス語の総合的な能力を身につけることができる。	○			○	◎	
	NWC10	フランス語演習Ⅳ	選択	4年	フランス語の総合的な能力を身につけることができる。	○			○	◎	

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身につけることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につけることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身につけることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
中国語	NWD01	中国語入門Ⅰ	必修	1年	正しく発音ができ、初歩的な会話ができる。	○	◎		○		
	NWD02	中国語入門Ⅱ	必修	1年	正しく発音ができ、簡単な日常会話ができる。	○	◎		○		
	NWD03	中国語基礎Ⅰ	必修	1年	初歩的な文法を身につけることができる。	○	◎		○		
	NWD04	中国語基礎Ⅱ	必修	1年	文法に基づいて、簡単な中国語の「読み・書き」ができる。	○	◎		○		
	NWD05	中国語応用Ⅰ	選択	2年	一年次で学習した内容を基礎に、聴く能力・話す能力および読解力を高めることができる。	○	○		◎		
	NWD06	中国語応用Ⅱ	選択	2年	一年次で学習した内容を基礎に、聴く能力・話す能力および読解力を更に高めることができる。	○	○		◎		
	NWD07	中国語演習Ⅰ	選択	3年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の向上をめざす。	○			◎		
	NWD08	中国語演習Ⅱ	選択	3年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の向上をめざす。	○			◎		
	NWD09	中国語演習Ⅲ	選択	4年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の更なる向上をめざす。	○			◎		
	NWD10	中国語演習Ⅳ	選択	4年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の更なる向上をめざす。	○			◎		
韓国・朝鮮語	NWE01	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	必修	1年	ハングル文字の読み書き(挨拶用語、韓国語学史)ができる。	◎	○				
	NWE02	韓国・朝鮮語入門Ⅱ	必修	1年	名詞文・用言文の習得と会話への適用ができる。		◎		○		
	NWE03	韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	必修	1年	ハングル文字、初歩文法を習得できる。	◎	○				
	NWE04	韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	必修	1年	初歩文法を完成し、ハヨ体を中心とした「用言活用」が習得できる。		◎		○		
	NWE05	韓国・朝鮮語応用Ⅰ	選択	2年	基礎会話・読解練習を中心に、不規則用言が習得できる。			◎	○		
	NWE06	韓国・朝鮮語応用Ⅱ	選択	2年	基礎会話・読解練習を中心に、不規則用言が習得できる。また、中級文法の完成、検定試験挑戦もめざす。			◎	○		
	NWE07	韓国・朝鮮語演習Ⅰ	選択	3年	中級文法の会話・読解などへ適応することができる。		△	◎	○		
	NWE08	韓国・朝鮮語演習Ⅱ	選択	3年	中級文法の会話・読解などへ適応することができる。		△	◎	○		
	NWE09	韓国・朝鮮語演習Ⅲ	選択	4年	上級文法の学習と会話・読解などへ適応することができる。		△	◎	○		
	NWE10	韓国・朝鮮語演習Ⅳ	選択	4年	上級文法の学習と会話・読解などへ適応することができる。		△	◎	○		

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身につけることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につけることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身につけることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
ロシア語	NWF01	ロシア語入門Ⅰ	必修	1年	文字を中心に、ロシア語文法の基礎を理解する。	◎	○		◎		
	NWF02	ロシア語入門Ⅱ	必修	1年	文字を中心に、ロシア語文法の基礎を理解する。	◎	○		◎		
	NWF03	ロシア語基礎Ⅰ	必修	1年	発音を中心に、初級会話表現を覚える。	○	○		◎		
	NWF04	ロシア語基礎Ⅱ	必修	1年	発音を中心に、初級会話表現を覚える。	○	○		◎		
	NWF05	ロシア語応用Ⅰ	選択	2年	文法表と辞書の使い方を習得する。	◎	○		◎		
	NWF06	ロシア語応用Ⅱ	選択	2年	文法表と辞書の使い方を習得する。	◎	○		◎		
	NWF07	ロシア語演習Ⅰ	選択	3年	ロシア語独自の発想を学び、自分についてロシア語で話すことができるようになる。	○	○		◎		
	NWF08	ロシア語演習Ⅱ	選択	3年	ロシア語独自の発想を学び、自分についてロシア語で話すことができるようになる。	○	○		◎		
	NWF09	ロシア語演習Ⅲ	選択	4年	中級以上のロシア語会話能力を習得する。	○	○		◎		
	NWF10	ロシア語演習Ⅳ	選択	4年	中級以上のロシア語会話能力を習得する。	○	○		◎		
タイ語	NWG01	タイ語入門Ⅰ	必修	1年	タイ語文法の基礎を理解する。	◎	◎		◎		
	NWG02	タイ語入門Ⅱ	必修	1年	タイ語文法の基礎を理解する。	○	○		◎		
	NWG03	タイ語基礎Ⅰ	必修	1年	文字を中心に、タイ語の基礎を理解する。	◎	◎		◎		
	NWG04	タイ語基礎Ⅱ	必修	1年	文字を中心に、タイ語の基礎を理解する。	○	○		◎		
	NWG05	タイ語応用Ⅰ	選択	2年	タイ語文法を理解し、応用できるようになる。			○	◎		
	NWG06	タイ語応用Ⅱ	選択	2年	タイ語文法を理解し、応用できるようになる。			○	◎		
	NWG07	タイ語演習Ⅰ	選択	3年	タイ語の読解に慣れ親しむ。			○	◎		
	NWG08	タイ語演習Ⅱ	選択	3年	タイ語の読解に慣れ親しむ。			○	◎		
	NWG09	タイ語演習Ⅲ	選択	4年	タイ語の読解に慣れ親しむ。			○	◎		
	NWG10	タイ語演習Ⅳ	選択	4年	タイ語の読解に慣れ親しむ。			○	◎		

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身につけることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につけることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身につけることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
日本語	NWH01	日本語Ⅰ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、入門レベルのアカデミック・スキルを身につける。	○	◎		◎		
	NWH02	日本語Ⅱ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、入門レベルのアカデミック・スキルを身につける。	○	◎		◎		
	NWH03	日本語Ⅲ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、論理的な表現力を身につける。	○	◎		◎		
	NWH04	日本語Ⅳ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、論理的な表現力を身につける。	○	◎		◎		
	NWH05	日本語Ⅴ	必修	2年	文章の内容を正確に理解して要約や意見を述べる力を身につける。		○	○	◎		
	NWH06	日本語Ⅵ	必修	2年	文章の内容を正確に理解し、関連した情報を収集しまとめる力を身につける。		○	○	◎		
	NWH07	日本語Ⅶ	必修	2年	発表や討論等を通じて、総合的な日本語運用能力を身につける。		○	○	◎		
	NWH08	日本語Ⅷ	必修	2年	資料を引用して論拠を示すレポートを作成し、総合的な日本語運用能力を身につける。		○	○	◎		
	NWH09	専門日本語Ⅰ	選択	3年	論理的な文章を構成し、聞き手を意識した発表を行う能力を身につける。	○		◎	◎		
	NWH10	専門日本語Ⅱ	選択	3年	自分で発見した問題について客観的な資料に基づいて論文を作成し、自分の主張を効果的に伝えられる能力を身につける。	○		◎	◎		
	NWH11	ビジネス日本語Ⅰ	選択	3年	就職活動に関連する場面での対人関係を考慮した会話能力を身につける。	○			◎		
	NWH12	ビジネス日本語Ⅱ	選択	3年	ビジネス場面での対人関係と状況を考慮した会話能力を身につける。	○			◎		
	NWH13	日本事情Ⅰ	選択	1年	日本社会や日本人への理解を深めることができる。	◎	○		○		
	NWH14	日本事情Ⅱ	選択	1年	日本社会や日本人への理解を深めることができる。	◎	○		○		



カリキュラム・マップ(共通教育科目)

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識が身につく。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につく。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力が身につく。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
---------	--

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
数理・情報	NWK01	数理学	選択	1年	数学のテーマを通じて論理的思考を体得し、思考の過程を数式を用いて表現できるようになる。	○	◎				
	NWK02	確率の基礎	選択	1年	不確実な事象や確率の意味を理解し、基本的な確率計算ができるようになる。	○	◎				
	NWK03	確率の応用	選択	1年	試行回数を増やした時の偶然変動(大数の法則や中心極限定理)が理解できる。	○		◎			
	NWK04	統計の基礎	選択	1年	数値データの基本的な統計処理技術が身に付き、処理結果の解釈ができる。	○	◎				
	NWK05	統計の応用	選択	1年	母平均などの推定と検定を行うことができる。	○		◎			
	NWK06	プレゼンテーション技術	選択	1年	効果的なプレゼンテーションを行うための基礎知識と技術が身につく。		○			◎	
	NWK07	マルチメディア表現法	選択	1年	マルチメディア作品を制作するための基礎知識と技術が身につく。	○				◎	
	NWK08	情報倫理	選択	1年	ネットワーク社会を生きるために必要な倫理、及びその基礎理論・知識が身につく。	◎	○				
	NWK09	社会データ分析入門	選択	1年	実社会で活かせるデータ分析を行うための基礎知識と技術が身につく。		◎			○	
	NWK10	情報の科学	選択	1年	デジタルデータの分析や編集を行うための基礎知識と技術が身につく。	○				◎	
	NWK11	コンピュータ科学の基礎	選択	1年	コンピュータ及びこれを利用するシステムに関する基礎理論と知識が身につく。	○				◎	
	NWK12	プログラミング	選択	1年	プログラムの基本的な構造を理解し、目的に合わせたコードを実装できるようになる。		○			◎	
	NWK13	情報リテラシー・入門	選択	1年	学生生活や学習を効果的に進めるための基本的な情報リテラシーが身につく。		○			◎	
	NWK14	情報リテラシー・応用	選択	1年	論文作成などに活用できる総合的な情報リテラシーが身につく。		○			◎	
自然	NWK21	科学と社会	選択	1年	自然科学と社会との関係についての理解が深まる。	◎	△	◎			
	NWK22	宇宙	選択	1年	太陽系と銀河系のしくみや、宇宙の誕生と発展に関する基礎的な知識が身につく。	◎	△	◎			
	NWK23	地球	選択	1年	地球の成り立ちについての基礎的な知識が身につく。	◎	△	◎			
	NWK24	物質科学	選択	1年	身近な物質を有機化学的な視点で捉えられるようになるための基礎的な知識・考え方を習得する。	◎	△	◎			
	NWK25	資源・エネルギー	選択	1年	物質資源・エネルギー資源についての科学的な理解が深まる。	◎	△	◎			
	NWK26	環境の科学	選択	1年	地球温暖化のメカニズムを理解し、今後の地球環境を自ら考える力を身につける。	◎	△	◎			
	NWK27	環境と都市	選択	1年	災害の発生メカニズムを理解し、災害と都市の関係を理解することができる。	◎	△	◎			
	NWK28	生命の科学	選択	1年	生物の体内構造や生理メカニズムを分子レベルで理解するための基礎的な知識・考え方を習得する。	◎	△	◎			
	NWK29	生物コミュニケーション	選択	1年	ヒトを含めた生物のコミュニケーションの進化と多様性についての基礎的な知識が身につく。	◎	△	◎			
	NWK30	生態学	選択	1年	生き物の系統の重要性と、生き物が示すさまざまなパターンの意味を理解する視点を獲得することを目標とする。	◎	△	◎			

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識が身につく。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身につく。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力が身につく。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
---------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
	NWK31	健康と運動の科学	選択	1年	正しい運動実践による体力・健康づくりを実践できる力が身につく。	○	△				◎
	NWK32	健康と栄養	選択	1年	科学的な根拠のある健康栄養情報を評価して判断することや自分自身の食事の栄養調査を実施して食生活における栄養摂取を考え改善することができる。	○	△	○			◎
	NWK33	スポーツの科学	選択	1年	さまざまなスポーツを科学的な視点から分析することができる。スポーツを『みる立場』から考えられることができる。	○	△				◎
社会	NWK41	憲法とくらし	選択	1年	憲法の原理原則に照らして現実社会のさまざまな人権問題・憲法問題を考えていけるようになる。	◎	△	○			
	NWK42	法とくらし	選択	1年	法学学の基礎的な知識が身につく。	◎	△	○			
	NWK43	政治とくらし	選択	1年	政治学における基本的な知識(制度、歴史、学説、理論)が身につく。	◎	△	○			
	NWK44	市場経済とくらし	選択	1年	グローバルイゼーションという重要な社会経済現象の内容を広く深く理解できるようになる。	◎	△	○			
	NWK45	国際社会と政治	選択	1年	国際政治学における基礎概念を習得し、日本と東アジアの歴史的今日的課題を考えるための知識と視点を獲得する。	◎	△	○			
	NWK46	情報と社会	選択	1年	広義の意味での情報リテラシーが身につく。	◎	△	○			
	NWK47	社会科学入門	選択	1年	働いて得た収入や学んで得た情報を、他社と共に社会を作ることにいかせる人が社会人で、その理由をともに学び活かすことができる。	◎	△	○			
	NWK48	社会科学応用	選択	1年	災害や事故に直面した時、どのように互いを支え、協力し、人間らしい暮らしを取り戻していけるのか、震災復興の現段階に学ぶことで理解を深めることができる。	◎	△	○			
	NWK49	社会学	選択	1年	今日の社会の基本的問題を多角的に考えることができるようになる。	◎	△	○			
	NWK50	現代コミュニティ論	選択	1年	コミュニティの生かし方、関わり方、作り方を理解できるようになる。	◎	△	○			
	NWK51	現代社会論	選択	1年	現代社会における諸問題を多方面から考えられる視点を獲得することができる。	◎	△	○			
	NWK52	国際社会とNGO	選択	1年	NGOとは何か、どういった活動を展開してきた、しているのか。また、その将来像と自分自身との関係について分析できるようになる。	◎	△	○			
	NWK53	現代社会とメディア	選択	1年	メディアの政治的役割に対する分析力を修得することができる。	◎	△	○			
	NWK54	社会思想史	選択	1年	現在の議会、そして法律とに、西欧に由来する普遍的な政治的叡智が凝縮されていることを認識することができる。	◎	△	○			
	NWK55	日本史	選択	1年	高校までに習った日本史の概念を一度解体して先入観を取り除き、この授業を通して自分なりの歴史観を再構築する。	◎	△	○			
	NWK56	歴史学	選択	1年	世界史学の基礎的な学力を養成することを目標とする。	◎	△	○			
	NWK57	東アジア近代史	選択	1年	中国、朝鮮、日本の東アジア近代の歴史を学ぶことによって、今につながる歴史問題の淵源を正しく認識できるようになる。	◎	△	○			
	NWK58	アジア地誌	選択	1年	広く、アジア社会の実態を理解できるようになる。	◎	△	○			
	NWK59	国際事情	選択	1年	長い20世紀と短い20世紀の理解、特に戦間期の理解を深めることができる。	◎	△	○			
	NWK60	地理学通論	選択	1年	地理学的基本知識が身につく。	◎	△	○			
NWK61	地誌学	選択	1年	地誌学的な観点から、社会を見る目を養うことができる。	◎	△	○				

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識が身につく。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身につく。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力が身につく。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
人文	NWK71	哲学	選択	1年	哲学の基礎知識が身につく。	◎	△	○			
	NWK72	現代の思想	選択	1年	システム論的発想力が身につく。	◎	△	○			
	NWK73	言語と人間	選択	1年	言葉と人間の関わりの課題や研究を通じ、問題発見と解決のためのプロセスが身につく。	◎	△	○			
	NWK74	民族と文化	選択	1年	ヒトと「文明」の発生、変化に関する最新の研究情報を学び、論理的に考える力が身につく。	◎	△	○			
	NWK75	民族と国家	選択	1年	人間社会の多様性や国際社会を理解するための基礎的な教養が身につく。	◎	△	○			
	NWK76	社会と宗教	選択	1年	宗教の性格と社会の有様との関連を理解し、主体的に宗教について考えるための基礎知識および方法を習得することができる。	◎	△	○			
	NWK77	心理学	選択	1年	心理学に関する基礎的な知識と、科学的な思考を修得することができる。	◎	△	○			
	NWK78	異文化コミュニケーション	選択	1年	身の回りの諸問題に関心を持ち、他者に配慮する意識を持つことができるようになる。	◎	△	○			
	NWK79	倫理学通論	選択	1年	カント哲学の基本を理解することができる。	◎	△	○			
	NWK80	文学と人間(東洋)	選択	1年	社会生活をするうえで必要な教養および心豊かに生きていく力が身につく。	◎	△	○			
	NWK81	文学と人間(西洋)	選択	1年	文芸理論、文学解釈を通して、ものごとを複眼的な視点から検討する力が身につく。	◎	△	○			
	NWK82	美術と人間	選択	1年	対象について基本的な知識を持ち、正しく理解することができる。	◎	△	○			
	NWK83	映画と人間	選択	1年	中国などの東アジア映画作品の特徴をつかみ、社会的背景を理解する。	◎	△	○			
	NWK84	音楽と人間	選択	1年	音楽と人間の関わりを通じ、19世紀ヨーロッパ市民社会と国民国家の形成を理解する。	◎	△	○			
	NWK85	演劇と人間	選択	1年	演劇の世界を理解することができる。	◎	△	○			
総合	NWL01	総合科目	選択	1年	様々なテーマを専門的視野から考察することで、総合的思考能力が身につく。	○	△	◎			
	NWL51	総合演習Ⅰ	選択	2年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力が身につく。	○	△	◎			
	NWL52	総合演習Ⅱ	選択	2年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力が身につく。	○	△	◎			
	NWL53	総合演習Ⅲ	選択	3年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力が身につく。	○	△	◎			
	NWL54	総合演習Ⅳ	選択	3年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力が身につく。	○	△	◎			



カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	--

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
体育	NWM01	スポーツ・健康演習	必修	1年	生活習慣病予防のための基礎知識と生涯スポーツの正しい運動実践能力が身につく。	○	○				◎
	NWM02	スポーツ実技 I	選択	2年	スポーツ実践の基礎的な技能から応用的な技能が身につく。	○					◎
	NWM03	スポーツ実技 II	選択	2年	スポーツ実践の基礎的な技能から応用的な技能が身につく。	○					◎

カリキュラム・マップ(国際コミュニケーション学部 国際教養学科<比較文化学科>)

学習・教育目標	①【教養(異文化理解)】グローバルな場で活躍し、人類社会の平和・共存に貢献するよう、日本を含む世界諸地域の社会や個々の文化など、特定の対象について深い知識を養う。 ②【理論(文化比較)】文化・社会・政治・経済など人類社会を構成する諸々の仕組みに注目し、グローバルな文化・社会状況を理解・分析する力をみがく。 ③【言語・異文化コミュニケーション】様々な言語の運用能力を高め、異文化コミュニケーションについて学習し、多文化状況を生き抜くための基本的なコミュニケーション力を身につける。 ④【調査研究方法】レポートから、プレゼンテーション、文献・資料・史料の調査ならびにフィールドワーク、そして卒業論文まで、異文化理解・文化間比較を深め発信する多様なスキルを習得する。
---------	--

授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
					①【教養(異文化理解)】	②【理論(文化比較)】	③【言語・異文化コミュニケーション】	④【調査研究方法】
KHB01	文化記号論入門	選	1	現象世界としての文化と人間がいかに記号を媒介にしてつながっているかを理解する。	◎	◎	◎	◎
KHB02	言語認知論	選	1	言葉とは果たして何なのか、また、日本語とはどういった言語なのかを、自分の問題として考える。	◎	△	◎	△
KHA01	言語文化論	選	1	言語を通して異文化を学ぶ。	◎	◎	◎	△
KHA05	メディア・リテラシー入門	選	1	新聞・テレビなどのマスメディアだけでなく、インターネット上の様々な情報の中から、各々が必要な情報を適切に抽出できるようになるとともに、インターネットのhttpプロトコルとHTML言語の果たす役割が理解できるようになる。	◎	○		△
KHA02	歴史リテラシー入門	選	1	・日本史を通史的に世界史と関連付けながら振り返り、歴史上の基本的な概念を理解する。 ・歴史学の研究方法や歴史的情報の初歩的取扱を、身近にある歴史的史料を通して身につける。	◎	◎		◎
KHA03	多文化コミュニケーション	選	1	多文化コミュニケーションの重要性を理解する。私達が他文化のルールにどう反応するかに対して理解を深める。	◎	◎	○	△
KHA10	異文化間コミュニケーション	選	1	この講義で扱う国々の人々が、どのようなコミュニケーションの特徴を持っているのかを習得する。	◎	○	○	△
KHA11	映像コミュニケーション	選	2	新聞・テレビなどのマスメディアにおいて「映像」がどのように利用されているかを踏まえ、インターネットにおいて「映像」が伝達される仕組みを理解し、情報発信の際に映像を上手に活用することができるようになる。	△	◎		○
KHA12	ネットワークコミュニケーション	選	2	インターネットにおけるhttpプロトコルとHTML言語の役割を踏まえ、情報発信の際にCSSの有効的な利用法を理解し、インターネット社会に潜む危険を回避できる能力を養う。	△	◎		○
KHA13	言語学入門	選	1	言語学の各研究領域の基礎知識をつける。ことばを多角的に分析する必要があることを、本授業をととして学ぶ。	△	△	○	○
KHA14	言語学概論	選	1	言語学の各研究領域の基礎知識をつける。ことばを多角的に分析する必要があることを、本授業をととして学ぶ。	△	△	○	○
KHA06	比較文化論入門	選	2	比較思想と言っても哲学史などではなく、比較文化にかかわる思想を扱うので具体的であり、分かり易い面があるが、それでもハードルはあるだろう。文化を比較の視点で考えてきた過去の指標的な考え方とその変遷を習得してほしい。	◎	◎	△	△
KHA07	比較文学論入門	選	2	国際的な時代に必要不可欠な比較文学(比較文化)についての基礎的な知識を習得する。	◎	◎	○	△
KHA08	比較宗教論入門	選	2	1 キリスト教の近代的性格を理解する。 2 近代国家と近代キリスト教との相補関係を認識する。 3 「宗教を克服するための宗教」としての近代キリスト教の存在によって、「無宗教」も含め、現代世界に「さまざまな宗教」(ユダヤ教、イスラーム、仏教、神道、ヒンドゥー教、道教……など○○教)があるかのようになっている近代世界の構造についてより深く知る。	◎	◎	○	△
KHA04	世界政治事情	選	1	日々生起転変する世界政治に関心を持ち、自分の生活との関係を考え、理解する。		◎		
KHB03	現代アメリカ事情	選	1	現代アメリカが抱える様々な問題を日米比較を交えての分析を通して、アメリカ文化への理解が深まる。	◎	◎	○	○
KHB04	現代日本事情	必修	1	現代日本社会を多角的に捉えることができるようになる。	◎	◎		
KHB05	現代アジア事情	必修	1	アジアについて幅広く理解する。	◎	◎		
KHB06	現代ヨーロッパ事情	選	1	現代ヨーロッパの政治・社会的環境を理解する。	◎	○	△	△
KHB07	日本の伝統芸能	選	1	日本の伝統芸能に関し、基本的な知識を学び、若干の体験をする。これにより、日本の伝統芸能への個人的な関心を高め、国際交流の場面においてもあるていどの説明ができるようになる。				
KHA09	フィールドワーク入門	選	1	フィールドワークと異文化理解の関係について理解を深める。	◎	◎	○	◎
KHF01	入門ゼミ	全員履修	1	大学での学習に必要な能力を身につける。	◎	◎		◎
KHF02	Preseminar I	必修	1	Presentation skills. Computer skills. Research skills. Communicative skills. Interaction skills. Listening, speaking, reading, writing and presenting skills. Peer assessment. Analytical skills. Creative skills.	◎	◎	◎	◎
KHF03	Preseminar II	必修	2	gain cultural understanding and critical thinking skills	◎	◎	◎	◎
KHF04	Seminar I	必修	2	Learner autonomy. Research skills. Creative expression skills. Expressing abstract thought. Philosophical discussion. Presentation skills. Responsibility and commitment skills. Meeting deadlines. Computer skills. Individual skills. Historical and societal context development. Listening, speaking, reading, writing and presentation skills. Interactive skills. Critical Analysis.	◎	◎	◎	◎
KHF05	Seminar II	必修	3	To examine a culturally significant event from multiple perspectives.	◎	◎	◎	◎
KHF06	演習 I	必修	3	各担当者によって内容が異なるため、シラバスを参照のこと。				
KHF07	演習 II	必修	3	各担当者によって内容が異なるため、シラバスを参照のこと。				

カリキュラム・マップ(国際コミュニケーション学部 国際教養学科<比較文化学科>)

学習・教育目標	①【教養(異文化理解)】グローバルな場で活躍し、人類社会の平和・共存に貢献するよう、日本を含む世界諸地域の社会や個々の文化など、特定の対象について深い知識を養う。 ②【理論(文化比較)】文化・社会・政治・経済など人類社会を構成する諸々の仕組みに注目し、グローバルな文化・社会状況を理解・分析する力をみがく。 ③【言語・異文化コミュニケーション】様々な言語の運用能力を高め、異文化コミュニケーションについて学習し、多文化状況を生き抜くための基本的なコミュニケーション力を身につける。 ④【調査研究方法】レポートから、プレゼンテーション、文献・資料・史料の調査ならびにフィールドワーク、そして卒業論文まで、異文化理解・文化間比較を深め発信する多様なスキルを習得する。
---------	--

授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
					①【教養(異文化理解)】	②【理論(文化比較)】	③【言語・異文化コミュニケーション】	④【調査研究方法】
KHF08	演習	Ⅲ必修	4年	各担当者によって内容が異なるため、シラバスを参照のこと。				
KHF09	演習	Ⅳ必修	4年	各担当者によって内容が異なるため、シラバスを参照のこと。				
KHF10	卒業研究	必修	4年	各担当者によって内容が異なるため、シラバスを参照のこと。				
KHA15	国際フィールドワークⅠ	選択	2年	アジア・欧米諸国体験の充実とたくさんの調査内容の記録に挑戦する。	◎	◎	◎	◎
KHA16	国際フィールドワークⅡ	選択	2年	フィールドワークの成果をまとめ、報告書を作成すること。	◎	◎	◎	◎
KHG01	アメリカ文化論	選択	2年	異文化理解と国際コミュニケーション能力を高める。	◎	◎	○	◎
KHG02	American Culture	選択	3年	アメリカ社会、文化への更なる理解が深まる。	◎	◎	○	○
KHG03	アメリカ生活文化論	選択	2年	多文化理解のための足掛かりを築き、国際コミュニケーション能力を高める。	◎	◎	○	◎
KHG04	アメリカ宗教社会論	選択	2年	This course will provide students a survey of the different religions in America, especially Christianity in its many forms. Students will learn the basic ideas in a variety of religions.	◎	○	○	○
KHG05	アメリカ政治社会論	選択	2年	アメリカ社会における様々な問題点を分析し、その争いの根源を探る。これによりアメリカで起こっている問題が、なぜ根深いか、の理解が深まる。	◎	◎	○	○
KHG06	アメリカ民俗論	選択	2年	アメリカン・フォークロアの基礎概念並びに研究方法の変化について学ぶ。	◎	◎	○	◎
KHG07	アメリカ文化史	選択	2年	This course provides students an overview of major events in American history during the 20th century. Students will learn about a variety of aspects of American history including politics, economics, sociology, and art.	◎	○	○	○
KHG08	アメリカサブカルチャー論	選択	2年	This course will expose students to different subcultures in America. Students will learn about these minority groups and how to understand academically subcultural groups.	◎	○	○	○
KHG09	アメリカ経済論	選択	2年	米国経済の特質を理解することで、日本やアジアが置かれている経済的ポジションを理解し、米国経済に対するイメージを持って頂くことを目標とする。		◎		
KHG10	日本・アジア文化論(中国)	選択	2年	中国文化に関する基礎知識を身につけること。	◎	○	○	○
KHG11	日本・アジア文化論(韓国)	選択	2年	韓国文化に関する基礎知識を幅広く身につけること。	◎	◎	○	○
KHG12	日本・アジア生活文化論	選択	2年	・考現学的研究方法について理解し、ビジネスにおいて応用できるようにする。 ・タイの一般の人々の生活についてより深く知る。	◎	◎		◎
KHG13	日本・アジア文化史	選択	2年	日本から西南アジアに至るまでのアジアの比較文化を理解する。	◎	◎	○	○
KHG14	日本・アジア思想文化論	選択	2年	「外から見た日本(外国人による日本論)」というテーマを掘り下げることによって、比較文化的な発想や思考を身に着けるとともに、日本文化(史)についての知識や見識を養うことを目標とする。	◎	◎	○	△
KHG15	日本・アジア言語文化論	選択	2年	言語と文化と話者の関係を自分の問題として考えてみる。	◎	◎	◎	△
KHG16	日本・アジアサブカルチャー論	選択	2年	一般教養として、サブカルチャーの知識を身につけること。	○	○	△	△
KHG17	India Studies	選択	3年	大国として知られるインドの社会的、歴史的、文化的背景と現状に対する理解を深め、また、インド社会を多角的に捉える視点を身に付けることを目指す。	◎	○	○	△
KHG18	Traditional Japan	選択	3年	日本における社会・文化的背景を理解する。	◎	◎	△	△
KHG19	ヨーロッパ文化論	選択	2年	美術史におけるアール・ヌーヴォーの問題を取り上げて、19世紀末から20世紀初頭にかけてこのデザイン運動がヨーロッパで広がった文化的な意味を理解できることを目的とする。	◎	◎	○	△
KHG20	ヨーロッパ文学論	選択	2年	文学は異文化理解の上では最も身近な手段ではないか。直接異文化の人の心に触れることができる。この時間はヨーロッパ文学の中でもすこし取っ付きにくいと思われるドイツの作品をいくつか読んで、ヨーロッパ的な人間観やものの見方、考え方などの一面に触れ、ヨーロッパ理解の手がかりを得られたら幸いである。	◎	◎	○	
KHG21	ヨーロッパ生活文化論	選択	2年	現代ヨーロッパの生活文化を理解すること。	◎	◎	△	△
KHG22	ヨーロッパ文化史	選択	2年	ヨーロッパ中世は、キリスト教支配の時代、とみられます。キリスト教とはどのような宗教か、一応の理解を目指す。近代資本主義的精神は、プロテスタント精神から生まれたとされ、資本主義経済をとる限り、われわれの精神もある点でキリスト教化されるといわれる。愛、性、結婚制度、死、知性の在り方、などがどのように考えられてきたか一定の理解を目指す。	◎	◎	○	
KHG23	ヨーロッパ民俗論	選択	2年	民俗文化と国民性論からヨーロッパ文化を学ぶ	◎	◎	○	○
KHG24	ヨーロッパ宗教社会論	選択	2年	現代ヨーロッパ社会における宗教の重要性を理解する。	◎	○	△	△
KHG25	ヨーロッパ政治社会論	選択	2年	現代ヨーロッパ政治社会の存立の基礎原理への認識がより深まること。	◎	◎	○	○
KHG26	ヨーロッパサブカルチャー論	選択	2年	現代ヨーロッパの多様性、不均質性、その文化的背景を理解する。	◎	○	○	△
KHG27	ヨーロッパ経済論	選択	2年	欧州統合の歴史、EUの制度を学び、ユーロ危機や欧州財政危機を考察できる。		◎		
KHG28	グローバルスタディーズ概論	選択	2年	コスモポリタンとしてのコモンセンスを身につけること。	◎	◎	△	△
KHG29	グローバルポリティクスⅠ	選択	2年	現代世界の成り立ちの経過と今日のその仕組みへの基本的理解を得る。	○	◎		△
KHG30	グローバルポリティクスⅡ	選択	2年	現代世界の成り立ちの経過と今日のその仕組みへの基本的理解を得る。	○	◎		△
KHG31	グローバル産業社会論	選択	2年	自然の恵みを享け続けられる持続可能な社会の建設、福祉国家・社会の再編・再建。この現代産業社会の2つの大きな課題へのさまざまな取り組みを理解し、今後さらに取り組みを前進させる方途を探る。	○	◎		△
KHG32	グローバル植生論	選択	2年	植物の系統と分類に関する基本的な知識と被子植物における種の多様性を具体的に認識する。	◎	○	△	△

カリキュラム・マップ(国際コミュニケーション学部 国際教養学科<比較文化学科>)

学習・教育目標	①【教養(異文化理解)】グローバルな場で活躍し、人類社会の平和・共存に貢献するよう、日本を含む世界諸地域の社会や個々の文化など、特定の対象について深い知識を養う。 ②【理論(文化比較)】文化・社会・政治・経済など人類社会を構成する諸々の仕組みに注目し、グローバルな文化・社会状況を理解・分析する力をみがく。 ③【言語・異文化コミュニケーション】様々な言語の運用能力を高め、異文化コミュニケーションについて学習し、多文化状況を生き抜くための基本的なコミュニケーション力を身につける。 ④【調査研究方法】レポートから、プレゼンテーション、文献・資料・史料の調査ならびにフィールドワーク、そして卒業論文まで、異文化理解・文化間比較を深め発信する多様なスキルを習得する。
---------	--

授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)			
					①【教養(異文化理解)】	②【理論(文化比較)】	③【言語・異文化コミュニケーション】	④【調査研究方法】
KHG33	イスラーム世界論	選	2年	高等教育を受けた者としてのイスラーム世界へのコンセンスを身につける。	◎	◎	○	○
KHG34	政治哲学	選	2年	政治社会における正義とは何か。人間が人間であり所以ははたして何か。政治社会によく生きることの意味とは何か。社会的に公正であることはなぜ必要なのか。政治的欺瞞や虚偽による詐欺はなぜ禁止されているのか……二世紀を生き抜くそうしたコンセンスを磨く。	◎	◎	○	△
KHG35	平和学	選	2年	1 「平和」をきちんと定義できるようになること。 2 現代世界における紛争をより多角的な次元で認識できるようになること。 3 さまざまなレベルにおける暴力を賛美したり、それに加担することのないように、しっかりと自らの平和価値の基盤を確立すること。	◎	◎	○	○
KHG36	国際政治経済学	選	2年	国際政治経済学に関する基礎知識・用語の習得のみならず、今後の国際政治経済について自分の意見を明確に述べる事ができるようになることを目標とする。	△	◎		
KHG37	国際開発論	選	2年	国際開発に関する基礎知識・用語の習得のみならず、国際開発について自分の意見を明確に述べる事ができるようになることを目標とする。	△	◎		
KHG38	Introduction to Cultural Studies	選	2年	Teaching skills. Summarising skills. Analytical skills. Discussion skills. Critical thinking. Reading, writing, speaking and listening skills. Interactive skills. Research skills.	◎	◎	○	◎
KHG39	Rituals and Ceremonies	選	2年	To examine the evolution of cultural identity as it is revealed in its rituals and ceremonies.	◎	◎	◎	○
KHG40	Topics in Multicultural Studies	選	2年	Teaching skills. Summarising skills. Analytical skills. Discussion skills. Critical thinking. Reading, writing, speaking and listening skills. Interactive skills. Research skills.	◎	◎	◎	○
KHG41	Culture through the Arts	選	2年	To explore the nature and role of art as a reflection of cultural identities.	◎	◎	◎	○
KHG42	Topics in the Arts	選	2年	Through the analysis of American ads and TV programs by using semiological analysis, you'll be able to critically examine various phenomena in depth.	◎	◎	○	○
KHG43	Introduction to Media Studies	選	2年	Media analysis skills. Computer skills. Semiotic skills. Learner autonomy skills. Interactive skills. Creativity. Communication skills. Listening, speaking, listening, reading and presenting skills. Critical thinking skills. Analytical skills. Media fluency.	◎	◎	◎	○
KHG44	Topics in Media Studies	選	2年	Students will learn about the representation of the American family through the medium of television. Students will also learn about the traditional and modern family structures in America.	◎	○	◎	○
KHG45	Popular Culture	選	2年	This course will teach students about the history of American popular music of the 20th century. Students will learn to identify the various strands of popular music that have been prominent in American culture.	◎	○	○	○
KHG46	Social Cultural Issues in Films	選	2年	This course will help students become familiar with cinema from different countries around the world so that they can gain intercultural understanding.	◎	◎	○	○
KHG47	国際観光学概論	選	2年	国際観光に関する基本的な知識、パースペクティブを身につける。	◎	○		
KHG48	国際観光学特殊講義	選	3年	人類の不幸な歴史の舞台を巡ることで、未来の平和のために学ぶ行為(「ダークツーリズム」)の一環として、とりわけ日本と関わりが深いアジア国際観光に関するやや特殊な問題であるアジア協同体の過去・現在・未来などについて理解認識を広める。	◎	◎	△	◎
KHG49	東アジア観光文化論	選	2年	日本からの東アジア観光について理解を深める。	◎	○		
KHG50	観光文化論	選	2年	観光を社会文化的な現象として理解するための基本的な考え方を身につける。	◎	◎		
KHG51	世界遺産論	選	2年	世界遺産の関連知識を身につける。	◎	△	△	△
KHG52	現代フォークロア論	選	2年	テーマ・概要にかかわる分野について概括的な理解を得ることを目指す。	◎	◎	△	○
KHG53	民具・民芸論	選	2年	民具・民芸と呼ばれる身近な道具や工芸品の実際を国内・国際について知ることに加えて、その種の文物への関心が近・現代に特有であることを反省的にとらえる視点が共有できればと望んでいる。	◎	○	△	○
KHG54	民族芸術論	選	2年	エスニシティとアートとの相関を理論と実際で理解。	◎	◎	○	○
KHG55	国際観光地理	選	3年	現代の観光業へ発展する基礎が築かれたのが19世紀半ば以後のイギリスであったことなど基本的な知識を得た後、主に日本・東南アジア・カリブ海など世界の幾つかの地域に関するやや詳しい事情や現代の観光ホテルの状況などについてやや専門的な知識を得ることを目指す。	◎	○	○	○
KHA17	海外インターンシップ	選	択	留学成果科目				